

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

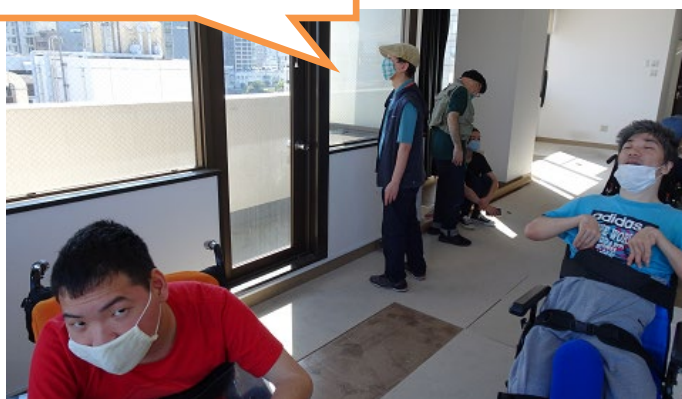
## 目次

☆活動報告	2
☆平成ビルに行ってきました！	3
☆工房ぷらす	4
☆メンバーのつぶやき（田中・柳川）	4・5
☆運営委員会報告	5
☆懐かしの写真アルバム	6
☆バリアフリーよもやま話（岡本連載） 第98回「ナイチンゲール」	7
☆寄付のお礼・所長のため息	8



平成ビル見学

あれに見えるは  
レインボーブリッジ！



# 2020年

# 10月号



## 活動報告

- ①9月1日から運転手さんとして城川さんが入りました。
- ②9月1日にメンバーの廣瀬さんと朝生さんと職員さんの木村さんの3人でみなとリサイクル清掃事務所に行ってゴミ袋の納品をしました。
- ③9月5日に朝会の時間の時に皆さんで話し合った結果、全員で平成ビルの見学に行きました。僕の意見としては出入口がとてもせまくって自分の電動車いすだとちょうどギリギリでした。
- ④9月12日に小出先生がきました。新型コロナウイルスの対策について勉強をしました。そこで学んだ事は手の洗い方と消毒の仕方も教わりました。今回は新型コロナウイルスの対策について教えて頂きありがとうございました。

メンバー 島田龍司



廣瀬さんと朝生さんが納品中です。



小出先生のコロナについて学んでいるようです。

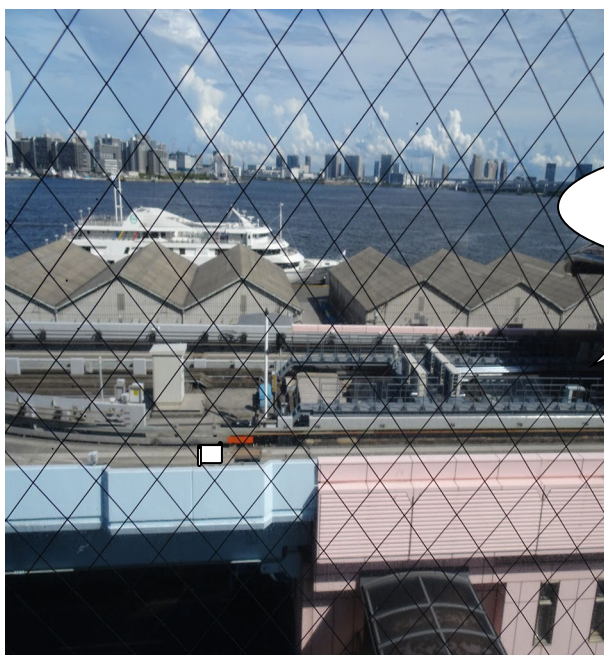


## 平成ビルに行ってきました！

来年2月入居する平成本社ビルの4～5階のうち5階の見学と手摺り位置の確認に、9月11日・18日行ってきました。場所は海岸2丁目で『ゆりかもめ』の日の出駅近くになります。エレベーター内はとても広く車いすが、一度に3台入るので、多少の時間短縮になるかもしれません。5階の眺望にも満足しています。日の出駅や日の出桟橋に着岸した、栈橋から出港した船が見られるからです。部屋はというと、今よりやや狭く感じますが、エレベーターを降りると目の前が作業場なのも満足しています。

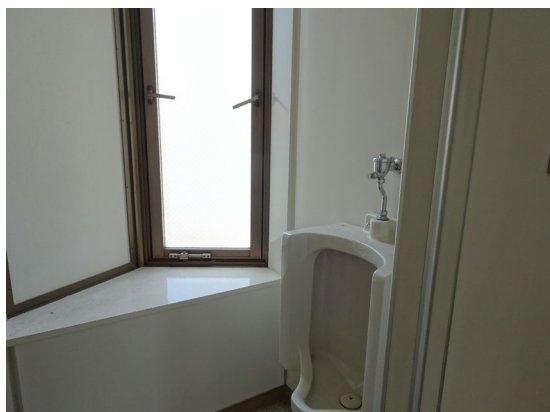
これから障害者用（多目的）トイレや手摺り・配線・電灯等の内装工事に入ることなので手摺りの位置確認を見てきました。僕としては、トイレ内部はもちろんのこと出入り口に付けてくれると助かります。

メンバー 三木直人



眺め抜群 いつまでも見られる

手摺りを付けてくれたら  
『鬼に金棒』





## 工房ぷらす ☆

(9月30日までの工房報告)

- 1) [青山星灯籠]の短冊製作の内職が入った。色とりどりの画用紙をカット、穴あけ、紐通しの工程を3班に別かれ150枚を製作した。
- 2) 新しい作業所(平成ビル)の視察に出かけた。メンバーそれぞれ気がついた事や要望を所長に報告した。
- 3) 牛乳パックを利用した手漉きハガキを112枚を製作した。
- 4) 会報を折り畳み 封筒に入れる作業を行った。



取材中の小熊さん(右)と取材を受けている掛橋さん(左)

メンバー紹介、2回目は、掛橋さんです。

広島県呉市出身で平成24年に入所しました。風の子での主な仕事は、給料計算、ハガキの計量、計測です。楽しい事は、今はコロナの影響で出来ませんがクラブ活動(麻雀)です。趣味は、残り物の食材を利用した簡単料理(玉子サンドなど)、テレビのクイズ番組を観る事です。

メンバー 小熊 健



## メンバーのつぶやき

### 手作りマスクありがとう

新型コロナウイルス感染予防のため、外出をする時はマスクを着用しています。僕のマスクは母の友だちの手作りマスクを着用していて、カラフルでかっこ良く、おもしろ



マスクコレクション

いマスクばかりです

「隠れハローキティ」のマスクや「花柄」のマスクなど、30枚以上あるのが僕の自慢です。

皆からの評判も良く、特に入浴サービスのスタッフにも毎回大評判で、母の友だちに感謝の気持ちでいっぱいです。これ

からも手作りマスクを大切にに使わせていただきます。本当に、ありがとうございました。



ハローキティのマスク

メンバー 田中 聡



## メンバーのつぶやき

### 「食事はゆっくりたべている。」

私は食事をゆっくり食べている。風の子会を出しているお弁当は自分で食べている。職員さんに井の中に、お弁当をいれてもらって緑の先割れスプーンを右手で食べている。時間がかかるが食べている。

このスプーンで食べている

風の子会メンバー柳川敬事。



## ～ 運営委員会より ～

運営委員会とは、会長に選任された運営委員で構成され、会の運営に関することを話し合っ  
て決める機関です。運営委員にはメンバーも職員もボランティアも含まれていて、月に1度集ま  
って様々なことを話し合っています。

2020年9月の運営委員会内容

### ・移転問題について

→移転先の平成ビルは10月から11月に改修工事が着工予定。ビルとの貸借契約は完了した。移  
転先での駐車場は3台分すでに確保した。  
部屋のレイアウトに関して何か要望はないか、再考の余地はないかを確認するため、メン  
バーみんなで部屋を数度観に行くことにした。

### ・コロナ対応状況について

→メンバーが発熱した際にPCR検査を受けるかどうかの判断や、PCR検査の受け方、発熱後何  
日間休むべきなのか、などについて再度話し合った。後日、顧問医師に確認する。

### ・男子職員応募状況について

→パートの運転職員が新しく加わった。  
常勤男子職員の実習はキャンセルされた。

これらについて話し合いました。

文責 運営委員・小野塚



## なつかしのアルバム



ハイチーズ！

かみさん熱唱！



数年前までは、9月にみんなで1泊旅行に行っていましたね。夜は宴会で、カラオケやどんちゃん騒ぎで賑わってましたね。もう行けないのかな。

（写真は2010年塩原1泊旅行）

担当・メンバー 小野塚



## バリアフリー よもやま話

### 第98回 「ナイチンゲール」

風の子会ボランティア・運営委員 岡本 明

今年、2020年は「白衣の天使」と言われるフローレンス・ナイチンゲール（1820-1910）の生誕200年、没後110年にあたります。ナイチンゲールは慈愛に満ちた看護婦として有名で、誕生日の5月12日は国際看護師の日とされています。一方、彼女は多才で、社会起業家、統計学者、看護教育学者、近代看護教育の母などなどとも呼ばれています。「白衣の天使」はナイチンゲールの業績を描いた映画の題名からきています。



ナイチンゲールの家は裕福なイギリスの地主貴族層で、両親の2年間の新婚旅行中（2年間も新婚旅行！）にフィレンツェで生まれました。

幼少期は贅沢ともいえるほどの教育が与えられましたが、慈善訪問のときに貧しい農民の悲惨な生活を知り、人々に奉仕する仕事に就きたいと考えようになりました。その後、看護婦を志し、ロンドンの病院に就職しました。

1854年にクリミア戦争（1853年～1856年、クリミア半島での、ロシアとイギリス・フランスなどとの戦争）が起こり、負傷兵が悲惨な状況におかれました。

ナイチンゲールは戦時大臣に依頼されてシスター、看護師を率いて後方基地の病院に赴任し、看護師の総責任者として活躍しました。その働きぶりから「クリミアの天使」、夜回りを欠かさなかったことから「ランプの貴婦人」とも呼ばれました。当時、患者の死因のほとんどは病院内の不衛生による感染症だったため、彼女は病院内を衛生的に保つことを命令し、42%もあった死亡率は5%まで低下しました。そして病院の患者の扱いは大きな変革を遂げ、彼女は現代の看護の創始者と認識されています。

ナイチンゲールは何人かの求婚者がいたそうですが、看護学の探求の妨げになるから、と結婚をすることはありませんでした。

ところで、ナイチンゲールが看護婦として働いたのは実はクリミア戦争従軍時の2年間で、帰国した後、37歳の時に心臓発作で倒れ、死去するまでの約50年間はほとんどベッドの上で原稿や手紙を書いて過ごしました。その間、戦時中の克明な記録をもとに病院の状況を分析し、多くの統計資料を作って政府に提出しています。彼女は棒グラフや円グラフがまだ一般的でない時代に「バツ・ウィング（こうもりの翼）」というグラフを考案し、誰にでも分かるような工夫がされていたそうです。また、1971年には近代病院の始まりと言われるセント・トマス病院を創設しました。現在のナースステーション、ナースコール、オーバーテーブルの設置などはすべてナイチンゲールが始めたものだという事です。

ナイチンゲールは多くの名言を残していますが、私が好きなのは、「どんな仕事をするにせよ、実際に学ぶ事ができるのは現場においてのみである。」という言葉です。



## 賛助会（寄付）・物品寄付のお礼

賛助会（寄付）ありがとうございます。（9月12日～9月30日）（順不同）

阿部 和子様 大野 誠様



## 所長のため息

風の子会が移転するビルの契約も決まり、9月から見学することができるようになりました。まだ内装工事などおこなっていないため、がらんとしていますが、何回か見学に行きました。室内は、今いる実習所より狭いのですが、見晴らしがとても良いです。また窓が低いために車椅子のメンバーでも外の景色をみることができます。まだ何も無い状態なので、みんなであれこれ想像しながら楽しんでます。

コロナの影響により、今年開催の予定だった、みなと区民祭りが中止になってしまいました。昨年も中止になってしまったので2年連続の中止となってしまいました。コロナのために今年は色々行事が中止になってしまいましたが、来年は区民祭りが無事、開催できることを祈っています。

5月号で賛助会の募集を行いました。皆様からのたくさんのご寄付ありがとうございます。これまでに集まった賛助会ご寄付は以下の通りです。引き続き募集しています。よろしくお願ひします。

賛助会実績（9月30日現在） 86名 3,096,600円

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

### 企画編集メンバー

太田 圭子	信高 正義
太田 稔	三木 直人
小野塚 航	柳川 敬事
島田 龍司	幸 高史
田中 聡	和栗頭太郎

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型  
〒108-0022

東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：[kazenoko@kazenokokai.or.jp](mailto:kazenoko@kazenokokai.or.jp)

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区砧6-26-21